

2010年6月30日発行

反対1名!

この6月議会では、補正予算にただ一人反対しました。理由は13億5000万もかかる「ふるさと新座館」の建設に疑問を感じたからです。一般質問でも財政問題を取り上げたのですが、新座市の財政難は続いています。市長はこの5年間で「市の借金を104億減らしました!」と胸を張っていましたが、それは県の指導を受けて土地開発公社健全化計画を行った為で、市が自主的に借金を減らした訳ではありません。その証拠に土地開発公社健全化計画の終了と同時に大型箱物の建設が決まったという訳です。確かに、野火止公民館の機能を移設したり、市民念願の小ホールがあったり、野菜の直売所があったりと「多機能施設」であることは確かなのですが、今の新座市には大きな財政負担であることは確かなことですし、多機能が故にそれぞれの機能に問題があることも浮かび上がってきました。保育園の待機児童が250名近い今、保育園を造るのならともかく、そんな箱物を造る余裕はないはずです。

借地問題

新座市には現在29万平米という借地があります。その内の約4万平米が学校用地です。相続が発生しても、学校用地は買い戻すしかありません。その費用は約50億。近い将来、それだけのお金が必要となるのです。学校以外にも公民館やコミセン用地などや児童公園などにも借地があります。ただでさえ公園が少ないと言われているのに、買い戻すお金がなければ民間に売られ、公園は更に減っていきます。新座市にはそういう問題もあるのです。13億5000万かけて造る「ふるさと新座館」と市民要望の強い集会所。1棟建設するのに4000万円かかるといわれる集会所を30棟新築で建ててもおつりがくる計算になります。そういうことを考え、僕は補正予算に反対しました。



たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、突然教師になる決意をする。77年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。04年初当選。どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。「黒目川川づくり懇談会」代表。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・料理・読書・カメラ・川掃除。新座五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。同時に学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。議員日記は6年と4ヶ月毎日更新。アクセスは11万回を超える。小中高生の生の声を聞きながら、日々教育を考え「観光新座ではなく、教育新座」を訴えている。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。たかやん

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106